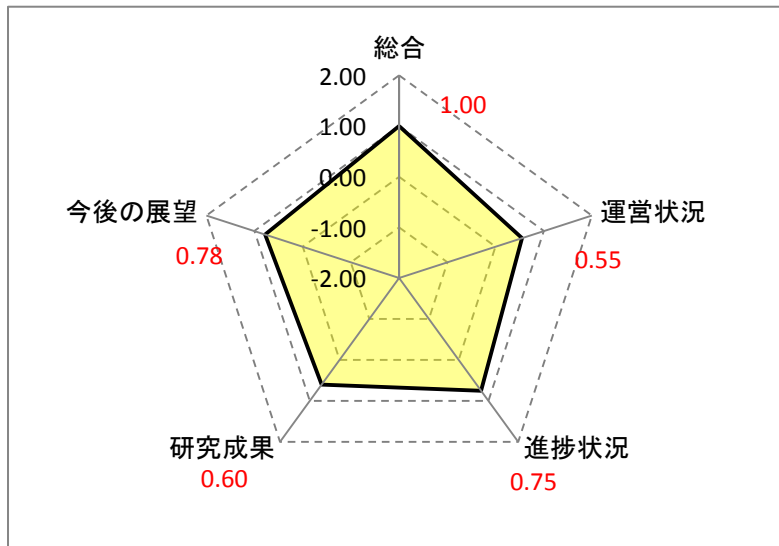


## 戦略的研究推進センター平成27年度研究プロジェクト評価

### 研究プロジェクト：萌芽研究部門 多機能ナノ/メソ空間材料創出プロジェクト

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	1.00	0.55	0.75	0.60	0.78	0.74
評価	B+	B-	B-	B-	B-	B-



#### (評価コメント)

##### 【総合評価からのコメント】

- ・2つのグループのうち、一方に余り成果がない。層状無機に関する研究グループの成果は評価できる。しかしGZO薄膜に関する研究については殆ど成果が出ているとは評価できない。
- ・教育面での貢献が見えにくいので、今後は教育や地域貢献に関する積極的な取り組みを期待したい。全体として、社会的なニーズが高く、応用範囲も広いので、研究成果が楽しみである。
- ・研究代表者の研究成果は良とするが、プロジェクトのメンバー間で研究成果の差が大きく、プロジェクトの運営の不調を感じさせる。また、外部資金の獲得状況が不良であり、改善が望まれる。以上より、総合的に判断して総合評価をBとする。
- ・研究期間内におけるメンバー間の連携・協力がリーダーによる個別的な連携であったことから、今後、より密な連携関係の構築のもと素材やデバイスの創出の研究に発展することを期待する。
- ・基礎的な部分は着実に進捗。呼吸スクリーニング部分は、プロジェクト完了時点としては不十分。
- ・やや進捗状況の遅れがみられる。
- ・5名の組織である。論文掲載の計9件は、一人当たり1.8件と堅実である。外部資金は科研費がなく補助金の1件のみで一人当たり10万円と低いので、本成果を基にした科研費の今後の取得が期待される。オープンセミナー2件と展示会出品1件があり、成果のアピールは確実に行われている。一方で、実装デバイスの製品化への詳細なロードマップ作成が望まれる。
- ・呼吸の分析は今年度当初からの課題でこの結果がキーになるのでもう少し計画的に進めることが必要と思われる。
- ・疾病患者が呼吸に含まれる疾病特有の科学物質の検出のための材料創製は、経産省や自治体のすすめているヘルスケアビジネスとの連携、あるいは協力の可能性もあるのではないだろうか。

##### 【各評価項目からのコメント】

- ・各分野の役割が明確であり、医・理工連携や外部組織との協力など、運営面は問題ないと考えられる。
- ・メンバー間の情報交換をもっと密に行って、問題解決に向けた協働や成果の活用図れたのではないかと。
- ・本萌芽プロジェクト研究で多機能素材の創製と評価についてはほぼ計画通りに実施されて、研究成果も上げられ、多くの論文が掲載されている点は評価できます。しかし、本プロジェクトの主要課題である呼吸診断システムの構築に関連した実験は、計画の課題が多過ぎたのかもしれないかもしれませんが、また不測の事態が生じたからなのではないかと、現時点では実施されていないようですので、計画通りに進んだとは言えないように思われます。
- ・概ね計画に沿って研究が進められ、基礎的な成果はあげつつあるように思えました。
- ・学術論文や学会発表は昨年度と比べて十分行われている。今後の外部資金の獲得に期待したい。
- ・個々のテーマの研究は着実に進行しているように見えるが、それらがつながったプロジェクトとしての成果が見えない。
- ・今後は、大型予算の獲得、呼吸診断に利用可能な素材、実装デバイスの開発と製品化を目指しているが、その実現可能性に若干の疑問あり。地域産業の活性化には繋がる研究。
- ・今後、各テーマの成果を活かした呼吸分析システムの確立に繋がるのか、あまりはつきりしない。